

【月刊HMレポート：Vol. 205】 2018年10月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



パワハラが過剰なほどに注目される中で

パワハラ問題が示す現代経営の方向性

◆◆◆ パワハラ対処を急ぐ前に“発生源”を捉える ◆◆◆

◆本レポートの内容◆

- | | |
|---------------------------|--------|
| 【1】 今日では厳しい指導の全てがパワハラなのか？ | …… 1 頁 |
| 【2】 企業現場の“様相”を変えた今日的な業務環境 | …… 2 頁 |
| 【3】 業務の機械化の中で“ヒト”の仕事の質が変化 | …… 3 頁 |
| 【4】 パワハラに無縁の現場指導《4大原則》とは？ | …… 4 頁 |
| 【5】 パワハラの源流と現代経営に求められる方向性 | …… 5 頁 |

なぜ、こんなに話題になるのかと思われるほど、パワハラ問題がメディアで取り上げられるのが、昨今の特徴かも知れません。今や“現場担当者の意に反する命令をする”ことが、全てパワハラになるとさえ言われます。

しかし、それではそもそも“組織運営”は不可能でしょう。指揮命令なくして組織は存在し得ないからです。そのため、今、パワハラ事件の本性を見据えて、その根本的な療法を考えるべき時に来ていると言えそうなのです。そこで、一つの事例をご紹介しますと思います。



SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- SPC 労務管理センター TEL:052-331-0844 FAX:052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL:052-331-0845 FAX:052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。